

上益城郡中体研

研究理事長 有働 秀樹

1 はじめに

上益城郡は、服部起明会長（甲佐中学校）を中心に、8校17名の研究員で構成され、教科等研究会を活動の中心として研究を進めた。上益城郡では、生徒の体力低下を防止しようと、これまで長年に渡って体力向上の取り組みを続けてきた。その成果として、徐々にではあるが、本郡生徒の体力は向上傾向が見られている。本年度は、その長年の取り組みを継続しながら、更に体力を向上させるために、生徒が自主的に運動に取り組むための「関心・意欲」を高める手立ての確立を目指して研究テーマを設定した。研究を進めていく中では、各学校が行っている体力向上の取り組みについての実践発表と、授業の中に「主体的・対話的」な活動を取り入れた提案授業を行い、研究員で討議を重ねた。

2 研究テーマ

主体的・対話的に取り組み、体力を高める体育授業
～運動の楽しさや必要性を感じさせ、関心・意欲を引き出す授業～

3 研究組織

- 部長 服部 起明（甲佐）
- 理事長 有働 秀樹（益城）
- 部会及び研究員

部会	夏期実技研修部会	授業研究部会	意識調査部会
重点事項	<ul style="list-style-type: none">・実技講習会の提案・講師、内容の確認・日程、役割の確認・実践レポート研修会	<ul style="list-style-type: none">・研究授業の提案・事前研究会の充実・教材教具の提案・評価の実際	<ul style="list-style-type: none">・実践レポートの提案・生徒の意識調査の実施・新体力テスト分析・次年度へつなぐ取り組み
チーフ	武田 雅裕（益城）	有働 秀樹（益城）	倉岡 武（蘇陽）
研究員	藤原 一也（矢部） 廣津 俊英（御船） 河津 由依（甲佐） 中尾 祐毅（嘉島）	藤野 博文（嘉島） 中尾 祐毅（清和） 松尾 成也（嘉島） 岩田 聡（木山） 顧問：服部 起明（甲佐）	村上伸一郎（御船） 松本 巧（甲佐） 板床 龍哉（木山） 内田 晴龍（益城） 顧問：福永純一（御船）

4 活動状況

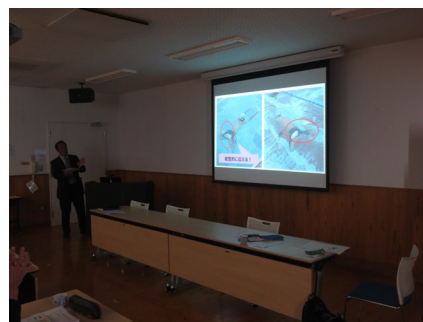
- 【5月24日（木） 郡教科等研究会 半日研修（益城中学校）】
 - ①役員選出
 - ②研究テーマ、サブテーマの検討
 - ③年間計画作成
- 【7月26日（木） 熊本県中体研夏期研修会・体育実技講習会】
- 【7月31日（火） 夏期指導力向上研修会 半日研修（木山中）】
 - 「保健分野」 講師：武田 雅裕 教諭（益城中学校）
 - 「球技」 講師：中尾 祐毅 講師（清和中学校）

(4) 【10月30日(火) 実践発表会 半日研修(甲佐中)】

発表テーマ：「各学校における体力向上に向けた取り組みと保健体育の授業における ICT 機器の活用について」

発表者：各校体育主任

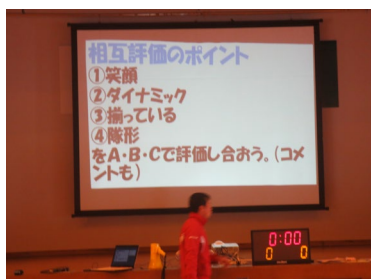
各学校で行っている「体力向上に向けた取り組み」と「保健体育の授業における ICT 機器の活用」についての実践発表を行った。「体力向上に向けた取り組み」では、体力テストの結果を分析し、授業の導入部分で補強運動やスキルウォームアップ取り入れることや、委員会を主体とした運動遊びクラスマッチの取り組み、みんなで励ましの声をかけ合いながら運動を行うという仲間づくりに重点をおいた活動についても発表があった。また、「保健体育の授業における ICT 機器の活用」については、映像を使って学習する運動のイメージを明確にしたり、自分の動きを客観視するために使用したりすることや、前時の学習の振り返りを短時間でを行うために使用する方法等が発表された。



(5) 【1月24日(木) 研究授業・まとめ 半日研修(嘉島中)】

ダンス「現代的なリズムのダンス」 授業者：藤野 博文教諭 松尾 成也講師(嘉島中学校)

生徒が主体的・対話的に授業に取り組めるよう、単元計画表や授業の1時間の流れが書かれたメニューボード掲示した。また、展開の場面においては生徒が課題解決をする場面を計画的に設定した。その際には、まず自分たちの課題を明らかにするために、グループごとに相互評価を行った。その後、相互評価をもとに課題を解決していくが、話し合いの前には、教師が「何について話し合うのか」や「何を教え合えばいいのか」等、課題解決の視点が明確になるような指示やアドバイス等の手立てを行った。



【相互評価の内容項目を掲示】



【相互評価をもとに話し合う様子】



【 教え合いの様子】

5 まとめ(成果と課題)

① 生徒が主体的・対話的に取り組む授業づくりについて

- 単元の流れや1時間の授業の流れを提示することで、生徒自身が見通しをもって活動の計画を立てる場面が増えた。
- 仲間と関わり合いながら課題解決していくことは、特に運動が苦手な生徒の意欲を向上させることに役立った。
- 話し合う内容を明確に示したことや、話し合いの中での役割を決めることで、話し合いがスムーズで活発なものになった。
- チェック表や学習カード等、思考ツールを効果的に用いることで、生徒同士の教え合いや話し合いが活発になった。
- 対話的な活動の時間が増え、体を動かす活動時間が減ってしまうと、体力向上につながらないので、時間配分を考える必要がある。
- リーダーの生徒を中心に活動できていたが、リーダーに頼りすぎている場面も多く見られたので、更に一人一人が活躍できる場面を設定する必要がある。

② 体力向上に向けた取り組みについて

- 他校の取り組みを参考することで、自校での取り組みがより良いものになった。
- 小学校と連携して、計画的・継続的な体力向上の取り組みが必要である。